

自分が変わる

名古屋市立北高等学校 2年 坂本乃愛

1. 私の研修の目標

私は日本と海外の教育の違いについてとても興味があります。特に、多文化主義であるオーストラリアの教育はほかの国とは大きく違いがあると聞いたことがあったので、グローバル化の進む今だからこそ、色々な価値観や考え方を持つ人たちがうまく共存していくために何が大事なのか、教育を通して学ぶことを目標としました。

2. 事前の準備

事前研修では、学校ごとに分かれ名古屋の魅力についてプレゼンをしました。私たちの学校は、日本発祥の「コスプレ」について名古屋で行われる「世界コスプレサミット」を紹介しながらプレゼンしました。たくさん調べていくうちに、名古屋に住む私でさえも知らなかった名古屋の魅力を発見することができました。

3. シドニーでの体験

私がこの研修で一番印象に残っているのは、現地の学校の生活を体験したことです。この研修では2つの学校に行きました。ノースシドニーにあるウェノナ・スクールに1日、ブルーマウンテンズにあるブルーマウンテングラマースクールに3日間、通わせていただきました。私が現地の学校に通って一番驚いたことは、生徒の授業を受ける姿勢です。たくさんの生徒が手を挙げ、先生が説明した問題にも「こういう考え方があるよ」と自ら前に出て説明をする姿、周りの人たちと意見交換を絶やさない姿に驚きを隠せませんでした。授業自体、先生が発言する時間が本当に少ないためまさに、「生徒で作る授業」でした。この体験を通して、自分自身も授業を受ける際には受け身にならず積極的に受けていこうと思います。

3. 研修の成果と今後の課題

<成果>

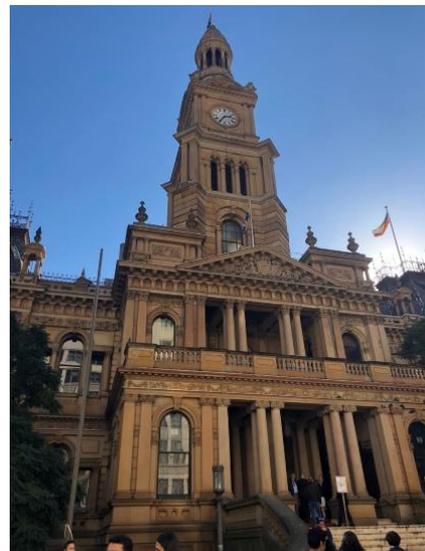
私は、今回の海外研修が生まれて初めての海外でした。ですので、期待とは裏腹に日本との違いに戸惑ってしまうのではないかと不安もありました。しかし、いざ現地の方々と接してみると日本人とは違う考え方や価値観、習慣にとっても驚きながらも、その違いを面白く感じるようになりました。

「みんな違って、みんないい。」まさにこの言葉の通りだなと感じました。

そして、現地では英語力を上げるためにもたくさんの人と話すことを心がけました。町で目が合った方に「ハロー」と声をかけると笑顔で返してくれたり、「どこから来たの?」と聞いてくれたりと本当にフレンドリーで温かい人ばかりでした。そんな現地の方々のおかげで、英語力の向上と共に、積極性も身に付けることができたのではないかと思います。

<課題>

この12日間を通して、自主的に動くことの大切さに気が付くことができました。しかし、まだまだ英語力が足りないため、自分の伝えたいことが伝えられずもどかしい場面が多々ありました。ですから今後の課題は、今まで以上に英語を勉強し、また海外に行った際には現地の方々に自分の思いをしっかりと伝えられるようにしたいです。



10 日間で得られたもの

名古屋市立北高等学校 2年 小久保菜津美

1. 私の研修の目標

私は以前から海外と日本の文化などの違いについて興味がありました。そして、今回それを肌で感じ、理解して、知識として自分の中に残し、それを近いところでは家族や友達に伝えるためにこの海外派遣に参加しました。また、今まで習い事や学校で学んできた英語能力を海外で試すタイミングが無かったので、自分の実力を試したいというのも私の研修の目標の一つでした。

2. 事前の準備

事前の準備として、私はオーストラリアで日本と違うところや逆に同じところを発見した際に、ホストファミリーに説明したり、派遣団内で話し合ったりできるように日本の文化や食べ物についてインターネットなどを使って調べました。また、日本の授業内容を少し英語で説明できるようにしていたので、実際にバディーに日本では授業でパソコンを使っているか聞かれた際に答えることが出来ました。さらに、私はブルーマウンテングラマースクール (BMGS) での日本語の授業で書道を紹介する担当だったので、習っている書道教室へ通う回数を少し増やしたり、先生に書き順や行書の書き方などを改めて教えてもらったりして、BMGS の生徒さんたちに書道についてできるだけ多くのことを知ってもらえるように頑張りました。

3. シドニーでの体験

この研修で私は BMGS とウィノナの二校での体験入学やホームステイ、シドニー市内の視察などを体験しました。どれも驚きに満ちたとてもためになる体験でしたが、その中でも特に印象的だったのは四泊五日のホームステイです。

ホストファミリーと会う前は緊張していてちゃんと会話できるかどうかとても不安でした。しかし、ホストファミリーはとても優しく、英語が理解出来ずにいると、簡単な単語を使ってくれたり、ジェスチャーで表現してくれたり、日本語の授業を取って

いるバディーは知っている日本語で伝えてくれようとしていたり、とても暖かい人たちでした。

また、ジェットロでは担当の方が私たちのオーストラリアの経済成長や輸出輸入問題について説明してくれたり、それについての疑問や質問に答えて下さったりと、オーストラリアについてホームステイや体験入学では知ることのできない細かいことまで知ることができ、知識を増やすことが出来ました。

4. 研修の成果と今後の課題

<成果>

まず、研修の目標でもあったオーストラリアと日本の違いについて観光で行っただけでは分からない仕事や病院の制度などについて学ぶことができ、価値観や文化の違いはそれらに繋がるということが分かりました。また、英語能力に関しては、リスニング能力が向上したと感じました。初日はほとんど聞き取れなかった会話も研修が最終日に近づくにつれて聞き取れるようになり、この研修で得られたものを実感できるようになりました。

<課題>

私のこの研修での目標は前述した通りですが、私はこの研修を通して、将来さらに国際化していくであろう日本の社会に対応できるような人間になることをもっと大きな目標としています。そのために、これからも異文化についての学習を続け、英語能力の向上に努めるとともに、この研修で得た積極性を無くさないよう、これからもっと自分から意見を発信できるようになろうと思いました。



ホストファミリーとの夜ご飯のフィッシュアンドチップス

シドニー派遣での12日間

名古屋市立北高等学校 2年 柴田 彩

1. 私の研修の目標

私は今までに28人の留学生を受け入れた事があります。この派遣以前、私は1度もオーストラリアの学生を受け入れた事がなく、オーストラリアの事を知りたい、日本との違いを学びたい、又自分自身も海外でホームステイを体験したいと思い派遣に参加を希望しました。アメリカ英語とオーストラリア英語の違いを知ること、私がオーストラリア派遣で学びたいことの一つです。

2. 事前の準備

私は剣道を5年間学んでおり、剣道の形を現地の学校で披露する機会がいただけるという事だったので、剣道の形やその英語での説明の練習をしました。事前研修では 学校毎のグループで分かれて名古屋市について英語でプレゼンテーションを作成し披露しました。また、北高に今春訪問したシドニーからの生徒に、メールを通して、日本との大きな違いやオーストラリア特有の物などを教えてもらいました。

3. シドニーでの体験

今回の派遣で、ブルーマウンテンズでのホームステイやブルーマウンテンズグラマースクール(BMGS)、ウィノーナスクールの体験入学を初めとし、シドニー市内視察としてオペラハウスやタロンガ動物園などに行きました。

BMGSの体験入学とホームステイでは、多くの日本との相違点や、日本にいたら知る事が出来なだろう体験が出来ました。学校に通う中でまず驚いたのがリセス recess という時間です。授業はそれぞれ60分で一日5時間授業でした。2時間目と3時間目の間にこのリセスという時間があり、20分間のこの時間に、生徒たちはお菓子やパン、フルーツを食べています。私のバディに、日本にはリセスはないと伝えると、日本の子はお腹がすいた時にはどうやって授業に集中してるのかと聞かれました。それを聞いた時、確かにそうだなと思いました。授業内で寝ている人は誰もいなかったし、皆すごく集中して授業を受けていて、日本の学生に伝えたいと思っていましたが、この話の後、もしかしたらリセスがあるからなのかとも思いました。実際に日本で授業を受けている時に空腹だと感じる生徒は沢山います。もし、日本にも

リセスがあれば皆もっと集中していい授業になるのではないかなと思いました。

また、BMGSでの私たち派遣団とそのホストファミリーでのディナーパーティの際に、私は剣道の形を披露しました。沢山の人の前で披露するのは少し緊張しました。ですが相手の子と上手く息を合わせて出来たので良かったです。また沢山の人が剣道に興味を持ってくれて嬉しかったです。

オペラハウスやタロンガ動物園の市内視察では直にオーストラリアの事を学ぶ事が出来ました。シドニーには沢山自然があって、とても人も優しく、過ごしやすい町だと思いました。また、日本とは違い沢山の人が英語だけでなく色々な言語を話していたのが、とても新鮮でした。

4. 研修の成果と今後の課題

<成果>

目標であった日本の違いや英語の違いも学ぶ事が出来ました。また、自分自身ホームステイをしてみても沢山ありました。今後もホストをする予定があるのでこの経験を活かしたいと思っています。様々な新しい経験に挑戦して私の視野はとても広がったと思います。

英語に関しても現地の生の英語を学ぶ事が出来ました。また沢山のオーストラリア英語を学べた事が嬉しく、もっと知りたいと思いました。

<課題>

シドニーでの日々はとても貴重な経験になりました。また、自分の将来についても考える機会になりました。12日間はすぐ過ぎてしまうと思い、沢山の事に挑戦し続けました。改めて、行動する事の大切さを知りました。日本でもどんどん様々な事に挑戦し行動していきたいと思っています。

また、今後BMGSの生徒が12月に名古屋に来る際には、自分が名古屋を案内したいです。また、姉妹都市委員会の方が10月に来日される時にも、名古屋の魅力を伝えられる親善大使としての役割をしっかりと果たしていきたいです。



BMGSでの剣道の形の披露